



# ほほえみだより

笑顔いっぱい 生き生き  
今日も来てよかった治田東の子ども

栗東市立治田東小学校

第4号

令和5年6月29日

## 大切にしたい「思いを話す」時間

子どもたちは本来、日々のうれしいことや楽しいこと、発見や学んだこと、不思議と感じたことを、身近な大人にすぐ話したがるものかもしれません。ところが、私たち大人は、目の前の仕事や作業に追われ、「今、聞かないとダメ?」「ちょっと、後にしてくれる?」と口にしがちです。すると、子どもは我慢を覚え、また学年が上がるごとに、些細なことは話さなくなってしまう。

そんな我慢を覚えた子どもたちに、思う存分自分の話をしてもらおうこと、そして耳を傾けてくれる大人がそばにいることを実感してもらおうため、本校では、担任と子ども一人ひとりが話をする時間「先生と話そう週間」を、年に2回設けています。



その1回目を6月12日から実施しました。一人ひとりと話す時間をしっかり確保するために、かなり力を入れてこの取組を行っています。この期間は、取組の時間帯となる昼休みの時間を充分確保できるように日課を変更して、事前アンケートをもとに各担任が一人ひとりと話していきました。昼休みの時間がいつもより長くなるので、相談のない子どもたちが時間を持て余すことのないよう、体育館で映像を流したり、子どもだけの時間ができないよう担任以外の教員で校舎内外の見守りをしたりと、全校体制で進めました。

また本校では、ご家庭と学校が協力してお子さんの成長を支えられるよう、保護者の皆さんからの相談を受け付ける「教育相談週間」を年に5回設けています。もちろん日頃から相談をお受けしていますが、「なんとなく気になること」、「ちょっと話してみたいこと」など、お忙しい毎日の中で、改めて学校に出向くほどではない内容について、お話いただくことを期待しています。また、この期間には、担任だけでなく、学校にいる教員はもちろんのこと、家庭教育支援員、スクールカウンセラーなどにも、ご相談いただけます。その中では、お子様の身体、食欲、睡眠のことや、子育てについての不安なども、話題にしていだければと思います。

子育ても教育も、子どもたちの今と未来を守る大切な「しごと」です。それに関わる大人同士がじっくり話すことで、悩みを共有したり、日々の関わりを振り返ったりして、互いのスクラムを強めることは、とても大事なことだと思います。どうぞ保護者の皆さま、「教育相談週間」をぜひご活用ください。

子育ても教育も、子どもたちの今と未来を守る大切な「しごと」です。それに関わる大人同士がじっくり話すことで、悩みを共有したり、日々の関わりを振り返ったりして、互いのスクラムを強めることは、とても大事なことだと思います。どうぞ保護者の皆さま、「教育相談週間」をぜひご活用ください。

わかばっこ  
のささやき※



6月23日(金)に6年生が家庭科の学習から学校内の「クリーン大作戦」をしていました。学校の気になる箇所を選び、どのように掃除をするときれいになるかを考えて実践していました。長年掃除をしていないような場所や汚れた壁や廊下を見事にきれいにしてくれました。「掃除が楽しいと初めて思った」「時間があれば、もっとできるのに」等の言葉を聞いて、きっかけがあれば子どもたちの意識が変わることを実感しました。

※このコーナーは、日常生活の中での子どもたちの様子から感じたことをささやくコーナーです。